

どーらく 改題 逆説土楽たより

断捨離考

7月号(NO46)通巻 196号

2022年7月10日(火)発行(毎月10日)

【農暦】トマト、茄子、胡瓜が採れはじめた！

○梅雨最短、とにかく暑い、高温の記録が続く、雨なく土に水気なし。鉢植えのブルーベリーが枯れていた。乾燥していて発芽が心配されたが、次週(4日)の降雨予報を期待して小豆と黒豆の種を蒔いた。この暑さでかキジの姿をみない。ひょっとしたら発芽を食べられないで済かも知れない。二つを期待しての種蒔きである。それに播種の時季(6月下旬)のこともある。

○最近は暦が合わない。梅雨に濡れて紫陽花が美しく映える時期の筈だが、萎れていると聞く。季節は廻るのではなく、激しく変わる。今の世相と同期しているようで怖いものを感じる。

○コロナ感染は下降線をたどっていたが徐々に増えて来ている。



<三峰神社>12日撮影

ウクライナで煽られる世論は、平和憲法など存在しないがほとくの論調が多い。軍拡(NATOの目標に同調しGDP2%へ約倍増)で、覇権主義に対抗するという。対抗する側も同じに見えてしまう。ロシア、中国を非難しないのは非国民だと言わんばかりのラジオでのニュース解説者には驚いた。平和を口にするのも憚れるような世相になるのではないかと心配になる。前線に立つ気のない人の端切れが良い言葉が目立つ。識者の発言は重い。ラジオを聴きながら思った。そして、井の中の蛙にはなりたくはないと、つくづく思う。

○コロナと観たいと思う映画ないこともあり、しばらく映画館に行っていなかった。こ暑さである。暑さ避難も兼ねて映画を観ることにした。本屋大賞の原作の映画「流浪の月」を観た。題材も、映像描写も素晴らしかった。久しぶりのいい映画を観ることが出来た。これを機に映画を観る機会を増やしたと思う。図書館に行く人が多いと聞く。晴耕雨読ならぬ“涼耕暑読”なのかもしれない。

○この暑さでシシトウが2本枯れた。水遣りが遅かったようである。

トマト、茄子、胡瓜が採れはじめた。やはり夏野菜は暑さに強い。

涼耕暑読で、菜園を楽しみたい。読は映画になりそうだ(了)



<朝採りきゅうり>

3日撮影

【楽農】<畑>じゃが芋、ブルーベリー収穫。トマト、茄子、胡瓜など初なり収穫、小豆(26日)、黒豆(1日)蒔く。草刈りを繰り返し実施。

【楽市】イベントなど；秩父路・三峯神社(10-12日)詩吟例会(16・30日)バードゴルフ大会(23日)笠間自動車学校(2日)共生の会、川柳の会(7日)詩吟会長会、アルパ演奏会(ジェンダー川柳)(9日)

【つぶやき=Tweet】マリリンモンローの死から60年経った今年！

○映画繋がりになるが、7月の雑誌でマリリンモンロー特集を読んだ。メジャーリーグの大スターのジョー・ディマジオ（2度目）、「セールスマンのも死」で有名なアーサーミラーと3度目の結婚と離婚、ケネディ大統領と恋仲がうわさされたマリリンモンローが36歳で亡くなったのは1962年8月5日だった。マリリンモンローは「シャネルの五番よ」「ハッピー・バスター・アワー・プレジデント」は有名で「もう大統領をやめていい」とケネディがあいさつしたという。

○非業の死を遂げたモンローは“女性が性の解放や自らの身体に対する自己決定権を取り返すフェミニズムに先駆け、良くも悪くも女性として身体を最大限に活かし、同時に呪い、

「女性であること」を引き受け、演じ、愛も家庭も仕事も名声もすべてを手に入れたという野心のために生き抜いた抵抗する女性として支持されているのだ。（斎藤綾子のジェンダー・トラブル・マリリンより）”と評されていた。この時期は第二次フェミニズムに繋がる。因みに第三次フェミニズムは1990年代から始まり今日に繋がっている。日本の旗手には上野千鶴子らがいる。

○マリリンモンローが亡くなった1962年は冷戦時代を象徴するような核戦争寸前までになったキューバ危機が起こっている。日本は安保で政治が動いた時期でもある。日韓条約、ベトナム反戦、大学闘争など激動期が続いた。

○マリリンモンローの死から60年経った今年、ウクライナ戦争が始まった。ロシアとアメリカの代理戦争だという。歴史は繰り返すというが、覇権主義の対立構造に進んでいるようで怖い。覇権主義では温暖化の脅威に対応できない。せつかく冷戦体制を超えて来たのに、また専制と民主主義という世界的な対立構造が作られようとしている。違いを融和しながら、雑多のものがあって調和するという価値観を共有したいものである。“生物の多様性”は大事だと人類の知見がある。今一番遅れているのは政治のように感じる。マリリンモンローの時代から政治だけは停滞・後退しているようで怖い。世界の政治家やリーダーには人類の未来が掛かっている。貧富を無くし平和な世界の実現のため注力して欲しい。大袈裟ではなく人類に残された時間は少ない。

○最近殺人事件が多い。窮すれば鈍する。衣食立って立って礼節というが、経済的不安、生活に希望が持てないなどあれば心は荒むのは道理？である。国レベルでも同じことが言える。利を貪らず豊かさを分かち合いSDGs、温暖化対策に立ち向かって欲しい。武器はいらない。必要なのは人類の愛と知である（了）

○断捨離考：ごみ捨励行レベルで停滞中。

【後記】また重い話にしてしまった。【HP転載】



<武甲山>12日撮影



<三峯神社の参道>11日撮影

発行者；小暮虎雄

住所；笠間市本戸4201-10

携帯電話；090-9333-4135

HP；kogure農場

メール；torao-k@nifty.com